

生き様

私身であるが、先月、義父が他界した。
この年令になると、葬儀に参列する機会が何かも多くなる。

毎回、弔辞を聞きながら、中央に飾られた故人の写真を見て
つくづく思っていることがある。

「大切なのは、何年生きたか、よりも
何をして生きてきたか」だと。

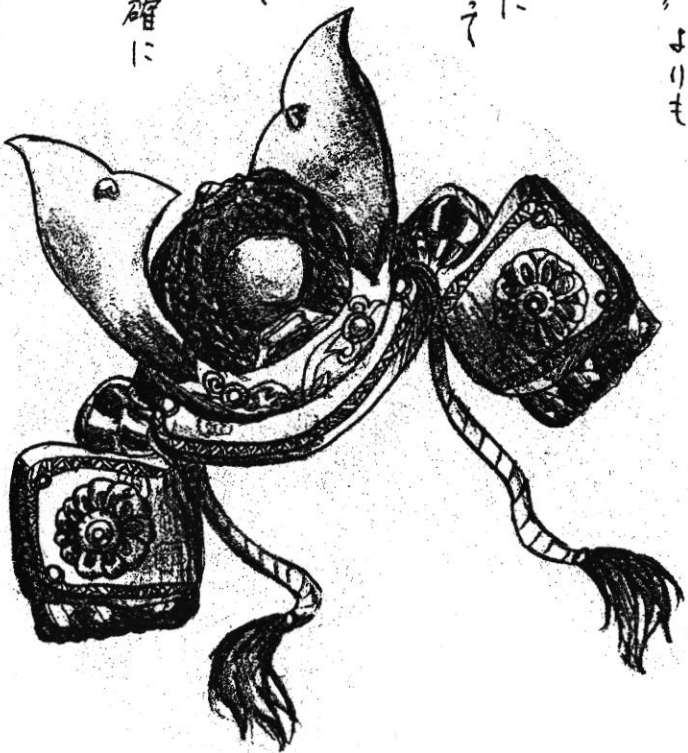
君たちは現在、道路選択に
あたり、様々な夢や志を
持っているだろう。

その時、職業を職種と
せよ、視野で考えるのでは
なく、働くという視野で
考えること、
選択の幅はさらに広がり、
自分が本当にやりたいことが
明確になってくるはずだ。

まずは、将来、どの職業に就く
かではなく、どう働くかである。
何をしたいかだ。

そしてその時に、やれば
できる、と言いつけにしないこと。
やらなきゃできないものだ。

持っている才能だけで
怠りせず、にやそいる人間には
希望は語れない。



うじん
魯迅

道に
希望とは

地上の道は二つある
ものである
ひとつは地上には
道はない
歩く人が歩く道は
それか道になるのだ

福ニキ

校長室
だより

ほたる草

平成二十八年六月三日(金)

NO.102